



平成29年12月22日

平成28年度子供の学習費調査の結果について

文部科学省は、子供を公立又は私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校（全日制）に通学させている保護者が、子供の学校教育及び学校外活動のために支出した1年間の経費の実態をとらえる「子供の学習費調査」を、平成6年度より隔年で実施しています。今般、平成28年度の調査結果がまとまりましたので、公表します。

1. 調査の内容

- 1) 調査対象：公立並びに私立の幼稚園，小学校，中学校及び高等学校（全日制）の
幼児・児童・生徒
- 2) 調査方法：全国1,140校 29,060人を対象とした抽出調査
(うち有効回答数 23,706)
- 3) 調査項目：保護者が支出した1年間・子供一人当たりの経費（学校教育費，学校給食費，学校外活動費），世帯の年間収入

2. 調査結果の概要

- 1) 「学習費総額」は、以下の通りとなった。

公立幼稚園	23万4千円	私立幼稚園	48万2千円
公立小学校	32万2千円	私立小学校	152万8千円
公立中学校	47万9千円	私立中学校	132万7千円
公立高等学校(全日制)	45万1千円	私立高等学校(全日制)	104万円

公立幼稚園，高等学校（公私立ともに）では前回調査から増加，私立幼稚園は減少。その他の学校種では前回からほぼ横ばい。

- 2) 「学校外活動費」(学習塾，習い事などへの支出)は，公立・私立のいずれでも，進学が近づくにつれて増加している。しかし高等学校(全日制)では，第1・2学年での支出額が増加しており，第3学年との支出差は縮小する傾向。
- 3) 幼稚園3歳から高等学校第3学年までの15年間，全て私立に通った場合の学習費総額は約1,770万円と，前回調査から変わらず。全て公立に通った場合(約540万円)と比べた場合の差は，前回から減少し3.28倍となった。

<担当> 生涯学習政策局政策課調査統計企画室

室長：高橋 憲一郎(内線3476)

分析調査官：牧野 浩司(内線2016)

統計情報分析係長：松久保 大作(内線2266)

電話：03-5253-4111(代表)

【調査結果のポイント】

1 学習費支出状況

(表1, 図1)

保護者が支出した1年間・子供一人当たりの学習費総額(保護者が子供の学校教育及び学校外活動のために支出した経費の総額)は、公立幼稚園で23万4千円, 私立幼稚園で48万2千円, 公立小学校で32万2千円, 私立小学校で152万8千円, 公立中学校で47万9千円, 私立中学校で132万7千円, 公立高等学校(全日制)で45万1千円, 私立高等学校(全日制)で104万円となった。

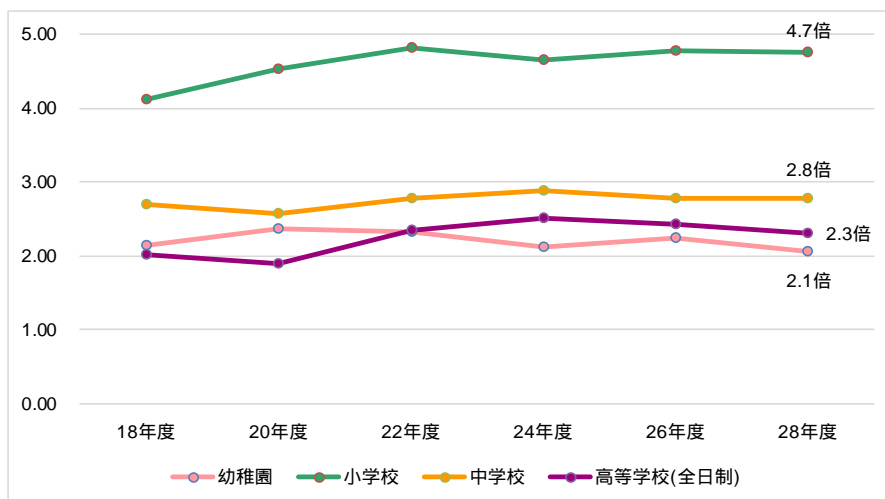
表1 学校種別の学習費総額

区分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校(全日制)	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立
学習費総額	233,947	482,392	322,310	1,528,237	478,554	1,326,933	450,862	1,040,168
公私比率	1	2.1	1	4.7	1	2.8	1	2.3
うち学校教育費	120,546	318,763	60,043	870,408	133,640	997,435	275,991	755,101
構成比(%)	51.5	66.1	18.6	57.0	27.9	75.2	61.2	72.6
公私比率	1	2.6	1	14.5	1	7.5	1	2.7
うち学校給食費	20,418	29,924	44,441	44,807	43,730	8,566
構成比(%)	8.7	6.2	13.8	2.9	9.1	0.6
公私比率	1	1.5	1	1.0	1	0.2
うち学校外活動費	92,983	133,705	217,826	613,022	301,184	320,932	174,871	285,067
構成比(%)	39.7	27.7	67.6	40.1	62.9	24.2	38.8	27.4
公私比率	1	1.4	1	2.8	1	1.1	1	1.6

(参考) 公立・私立学校総数に占める私立学校の割合, 及び公立・私立学校に通う全幼児・児童・生徒数全体に占める私立学校に通う者の割合(平成28年度)
 幼稚園(学校数: 63.2% 園児数: 83.3%) 小学校(学校数: 1.1% 児童数: 1.2%)
 中学校(学校数: 7.5% 生徒数: 7.2%) 高等学校(全日制)(学校数: 30.3% 生徒数: 32.5%)
 高等学校(全日制)の生徒は, 本科生に占める私立の割合である。
 (資料) 文部科学省「平成28年度学校基本調査報告書」

公立学校と私立学校の学習費支出状況を比較すると、私立の学習費総額は公立の学習費総額に対し、幼稚園では2.1倍, 小学校では4.7倍, 中学校では2.8倍, 高等学校(全日制)では2.3倍となっている。この比率は、いずれも前回調査からわずかに減少した。

図1 学校種別の学習費総額における公私比率の推移(近10年・本調査6回の推移)



2 学校種別の結果

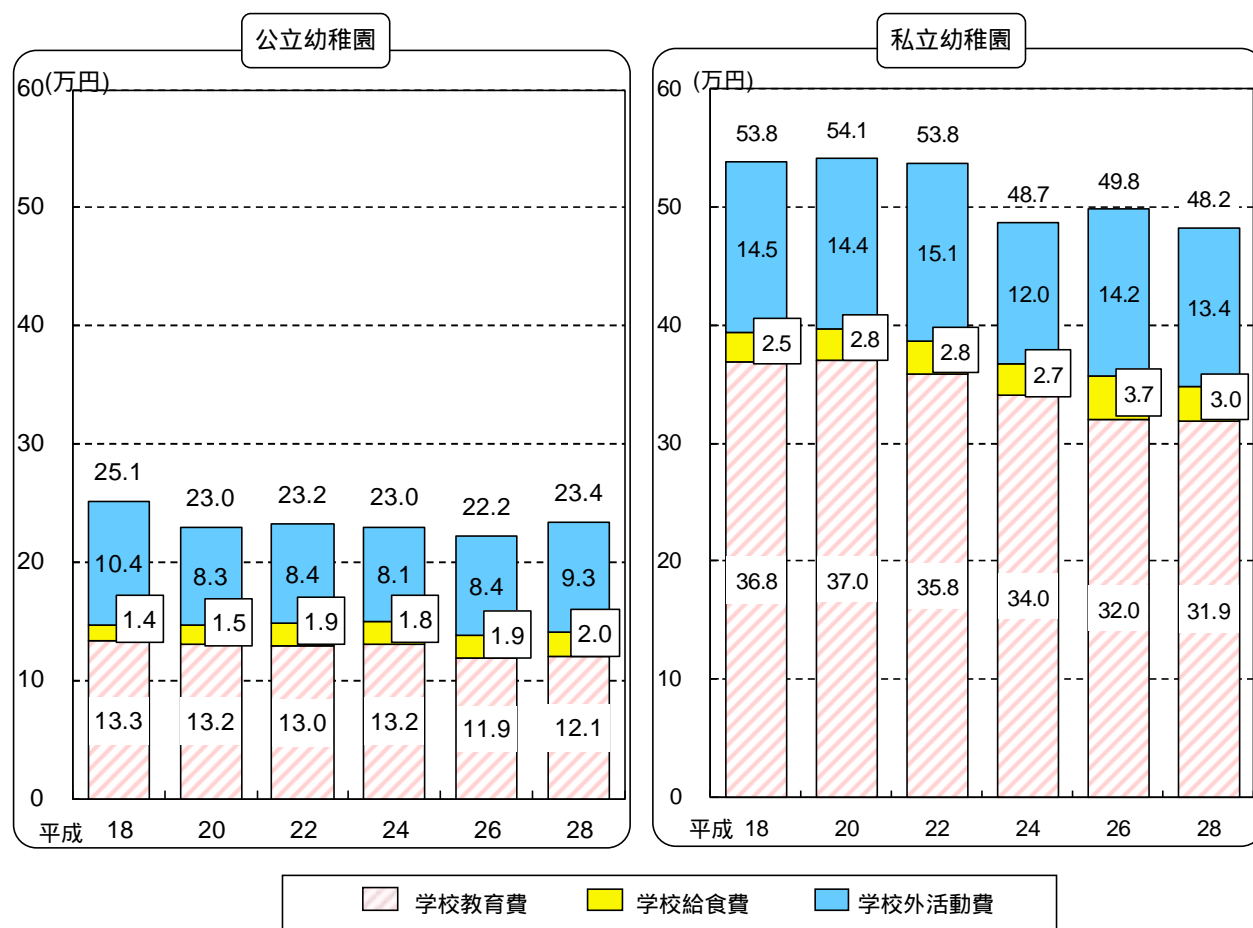
(1) 幼稚園 (図2-1~2-3)

学習費総額を見ると、公立幼稚園では23万4千円、私立幼稚園では48万2千円となっている。

公立幼稚園は前回調査から5.3%増加したが、これは主に、学校外活動費(自宅学習や学習塾・家庭教師などの費用(補助学習費)と、体験活動や習い事等のための支出(その他の学校外活動費)の合計額)の支出が前回から11.1%増加したことによるもの。

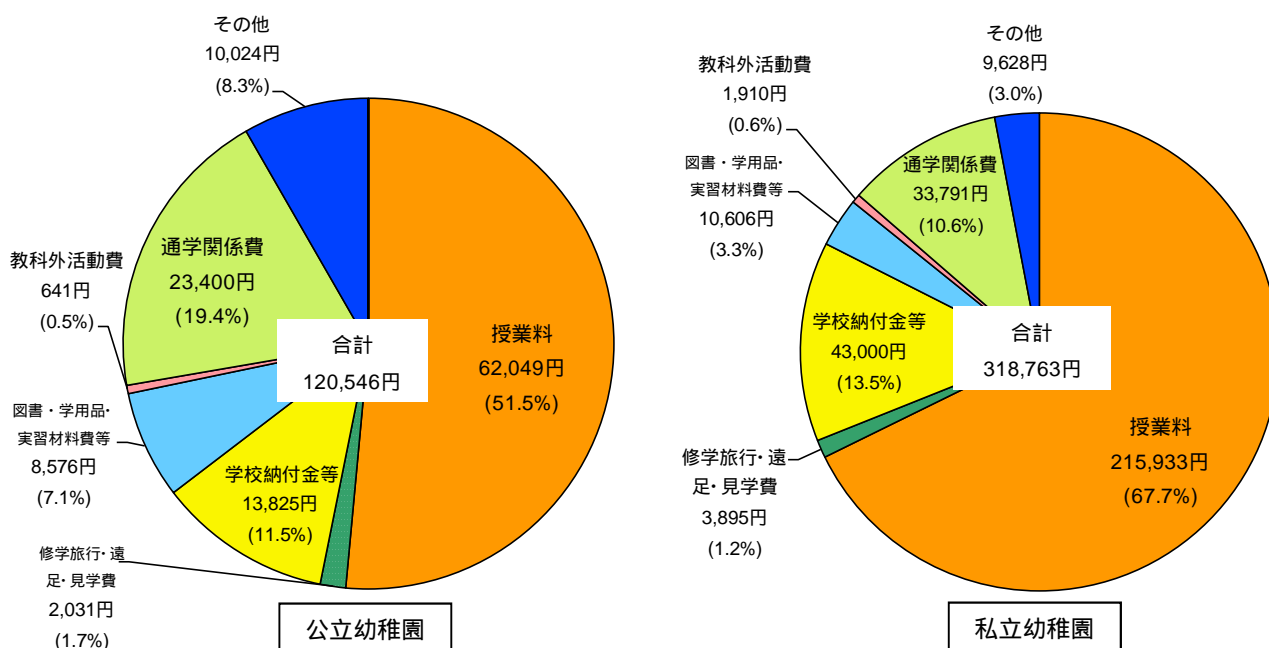
また、私立幼稚園の学習費総額は、本調査開始(平成6年度)以降で最も少ない額となった。

図2-1 公立・私立幼稚園における学習費総額の推移(近10年・本調査6回の推移)



学校教育費（学校教育のために各家庭が支出した全経費）を見ると、公立・私立幼稚園ともに授業料（保育料）が占める割合が最も多く、合計額のうち50%を超えている。

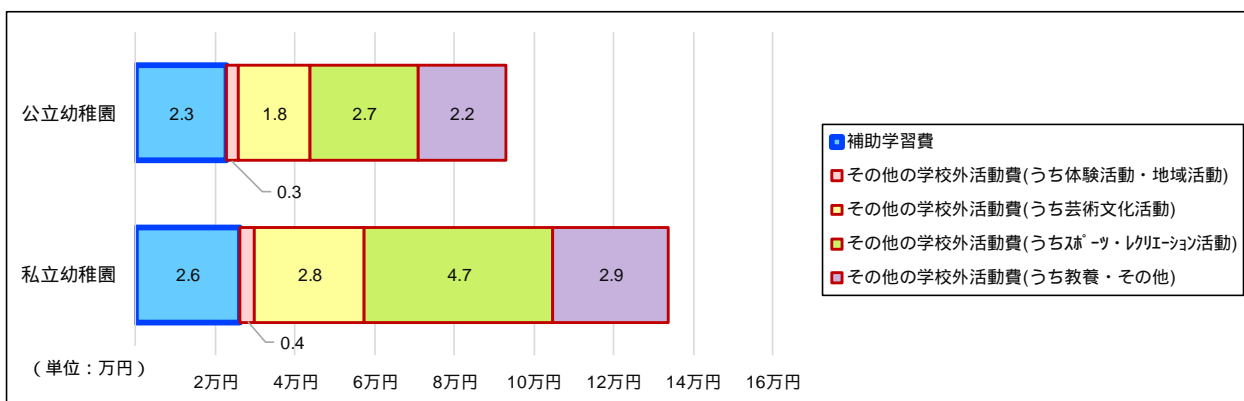
図 2-2 公立・私立幼稚園における学校教育費の内訳



- (注) 1 「学校納付金等」とは、入学金、検定料、私立学校における施設整備資金、学級費、PTA 会費等であり、統計表の「学級・児童会・生徒会費」「PTA 会費」「その他の学校納付金」「寄附金」の計である。
 2 「図書・学用品・実習材料費」とは、授業のために購入した図書、文房具類、体育用品及び実験・実習のための材料等の購入費であり、統計表の「教科書費・教科書以外の図書費」「学用品・実験実習材料費」の計である。
 3 「教科外活動費」とは、クラブ活動、学芸会・運動会、芸術鑑賞会、臨海・林間学校等のために家計が支出した経費である。
 4 「通学関係費」とは、通学のための交通費、制服及びランドセル等の通学用品の購入費であり、統計表の「通学費」「制服」「通学用品費」の計である。
 この注記は以下、図 3-2、4-2、5-2 において同じ。

学校外活動費を見ると、幼稚園では「その他の学校外活動費」（体験活動や習い事等のための支出(用具購入費を含む)）が「補助学習費」（自宅学習や学習塾・家庭教師などの費用）を上回っており、中でも「スポーツ・レクリエーション活動」に対する支出が最も多くなっている。

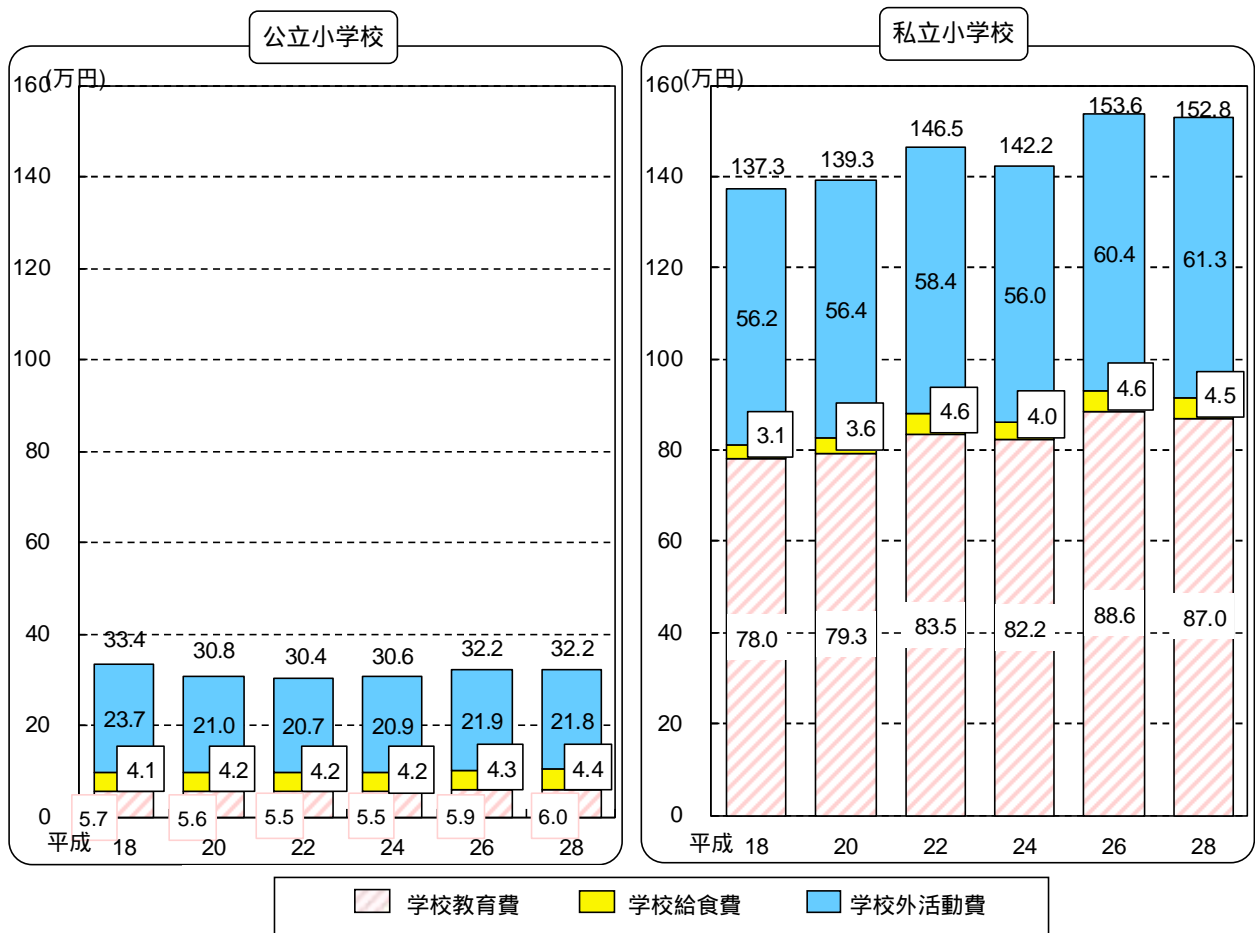
図 2-3 公立・私立幼稚園における学校外活動費に占める「補助学習費」「その他の学校外活動費」の割合



(2) 小学校 (図3-1~3-3)

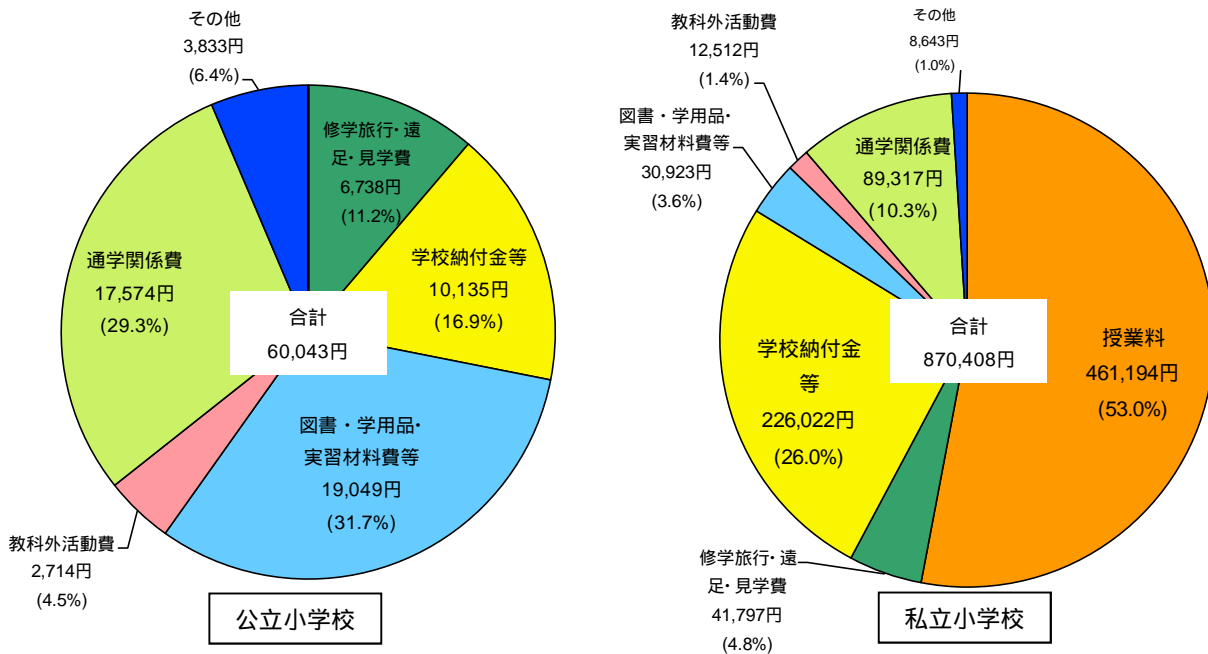
学習費総額を見ると、公立小学校で32万2千円、私立小学校では152万8千円となっている。公立・私立小学校ともに、前回調査からほぼ横ばい。

図3-1 公立・私立小学校における学習費総額の推移 (近10年・本調査6回の推移)



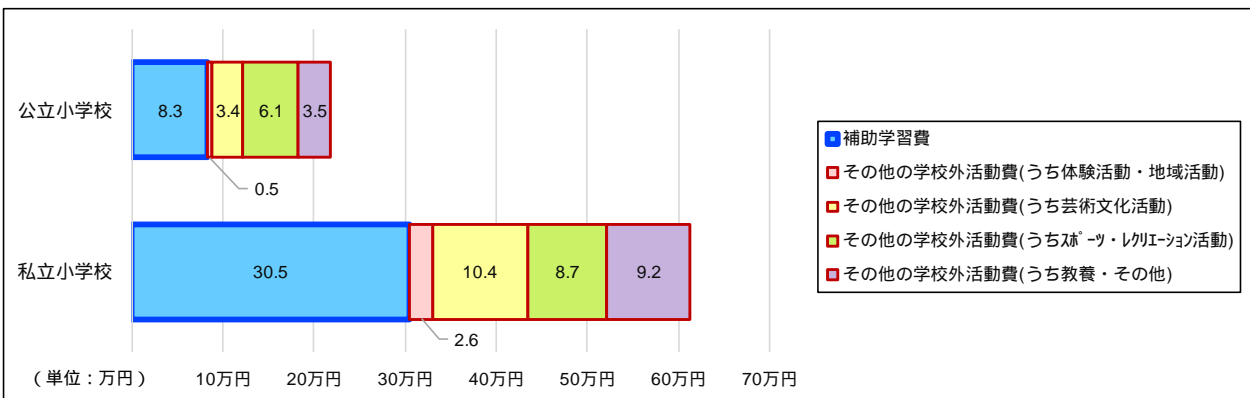
学校教育費を見ると、公立小学校では、図書・学用品・実習材料等の経費が占める割合が多い。一方、私立小学校では授業料が占める割合が最も多い。

図 3-2 公立・私立小学校における学校教育費の内訳



学校外活動費を見ると、小学校でも「その他の学校外活動費」が「補助学習費」を上回っている。「その他の学校外活動費」における内訳を見ると、公立小学校では「スポーツ・レクリエーション活動」の額が最多であり、私立小学校では「芸術文化活動」が最も多くなっている。

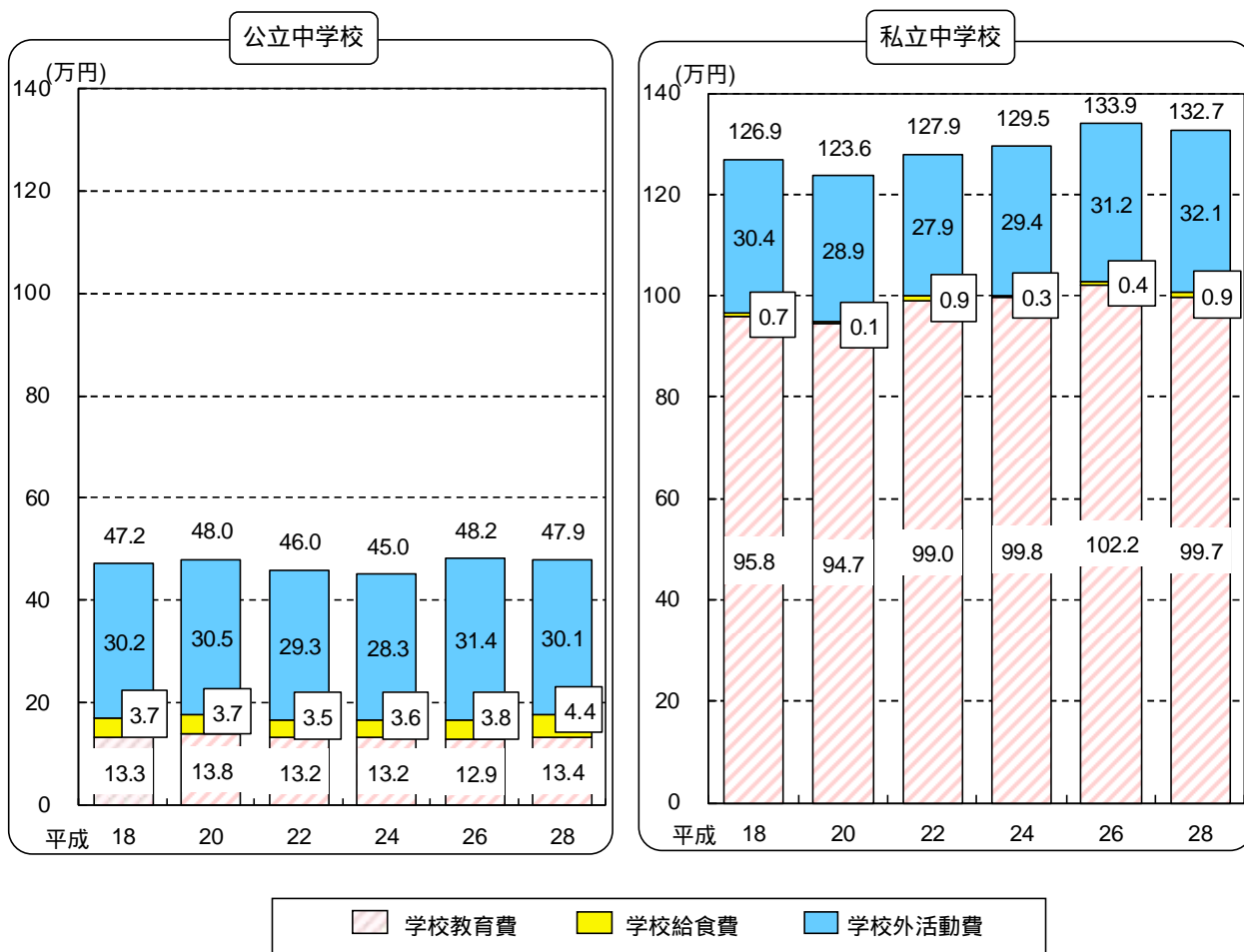
図 3-3 公立・私立小学校における学校外活動費に占める「補助学習費」「その他の学校外活動費」の割合



(3) 中学校 (図4-1~4-3)

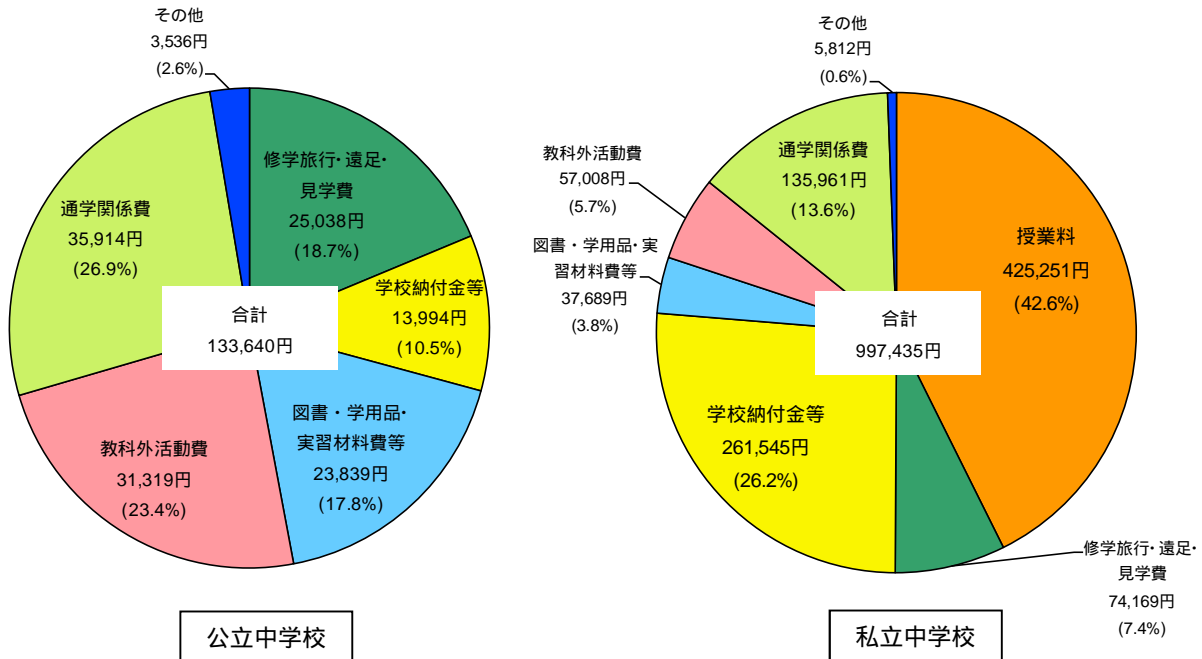
学習費総額を見ると、公立中学校で47万9千円、私立中学校では132万7千円となっている。公立・私立中学校ともに、前回調査からほぼ横ばい。

図4-1 公立・私立中学校における学習費総額の推移 (近10年・本調査6回の推移)



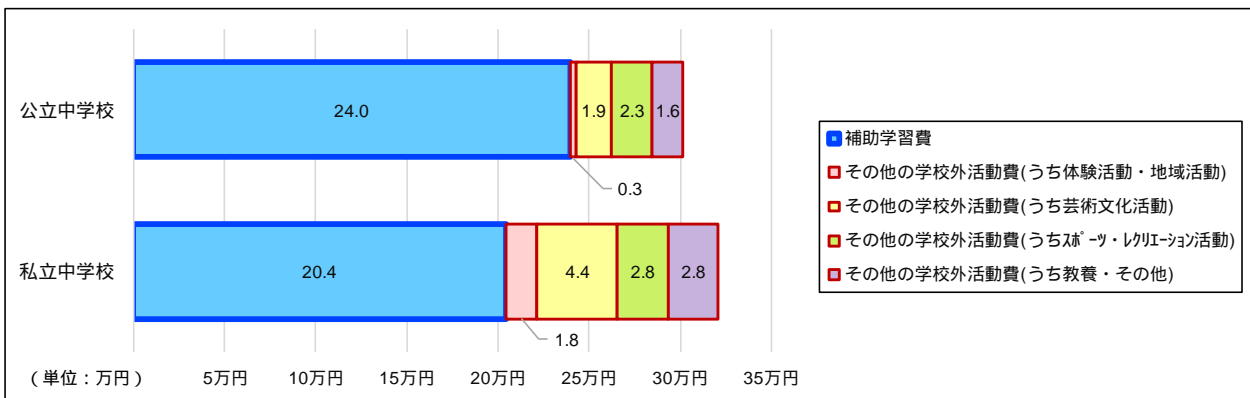
学校教育費を見ると、公立中学校では、各項目に対して大きな偏りなく支出されている。一方、私立中学校では授業料が占める割合が最も多い。

図 4-2 公立・私立中学校における学校教育費の内訳



学校外活動費を見ると、中学校では「補助学習費」が「その他の学校外活動費」を上回る。また、「補助学習費」の支出額は、公立中学校の方が私立中学校より多くなっている。

図 4-3 公立・私立中学校における学校外活動費に占める「補助学習費」「その他の学校外活動費」の割合



(4) 高等学校(全日制)(図5-1~5-3)

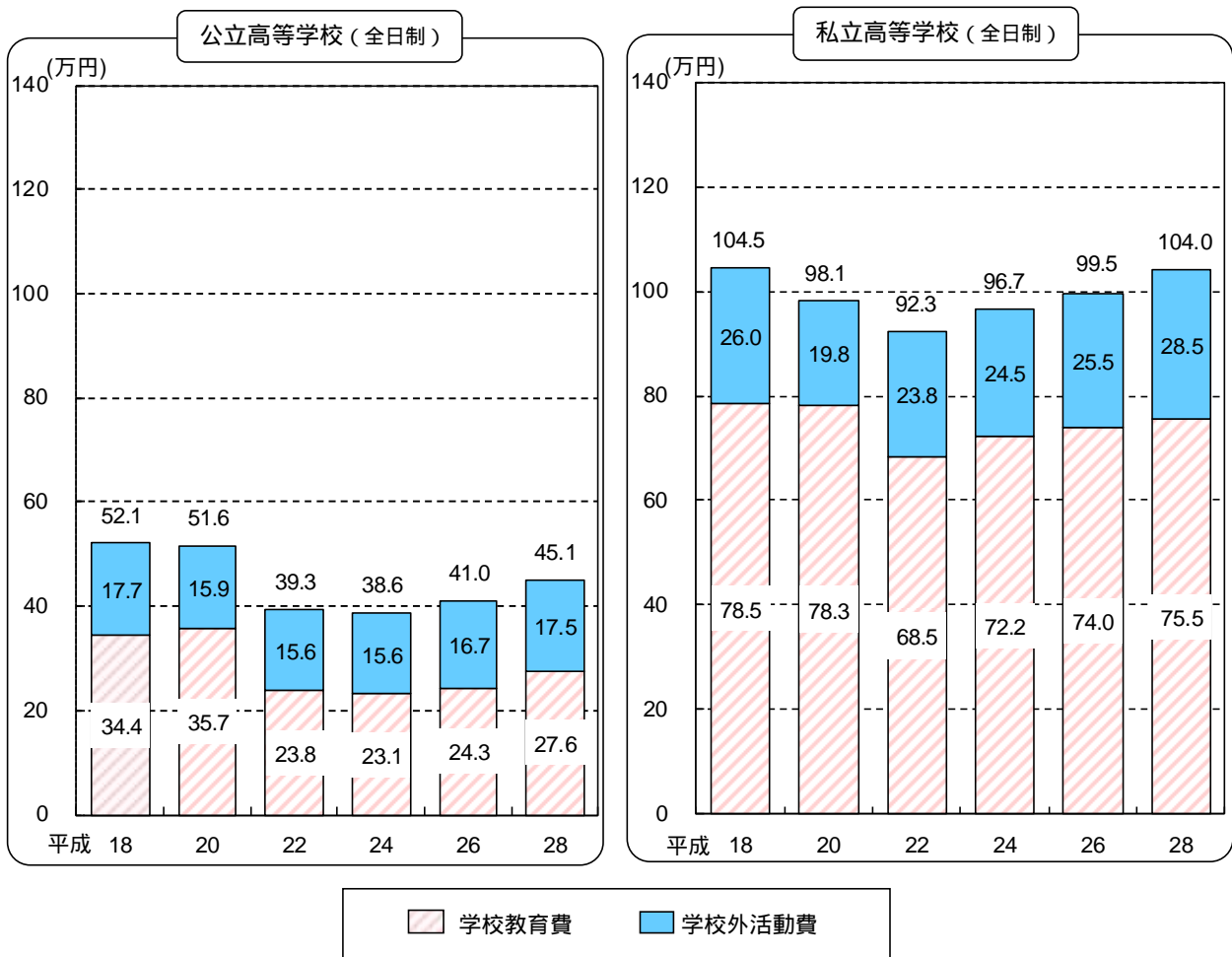
学習費総額を見ると、公立高等学校(全日制)で45万1千円、私立高等学校では104万円となっている。

公立高等学校(全日制)では、学習費総額が前回調査から10.0%増加している。これは、学校教育費の増()のほか、学校外活動費の支出が前回から4.5%増加したことによるもの。

また、私立高等学校(全日制)でも、学校外活動費の支出が前回から11.7%増加している。

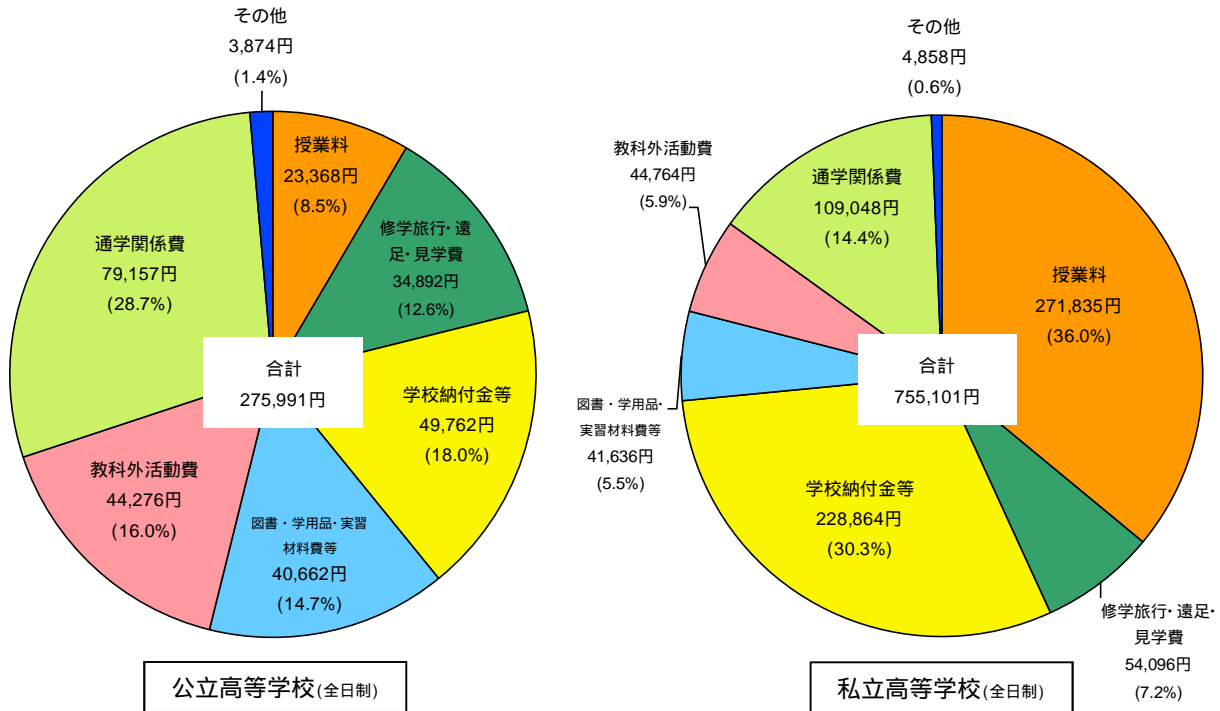
() 公立高等学校では、平成26年度以降入学者から、授業料不徴収制度から高等学校等就学支援金制度へ移行。本調査結果(平成28年度)では第3学年の生徒まで新制度へ移行しており、前回結果(第1学年まで新制度移行)と比べて授業料を負担する者が増加した。そのため、今回の結果では公立高等学校(全日制)の学校教育費が増加したものの。

図5-1 公立・私立高等学校(全日制)における学習費総額の推移(近10年・本調査6回の推移)



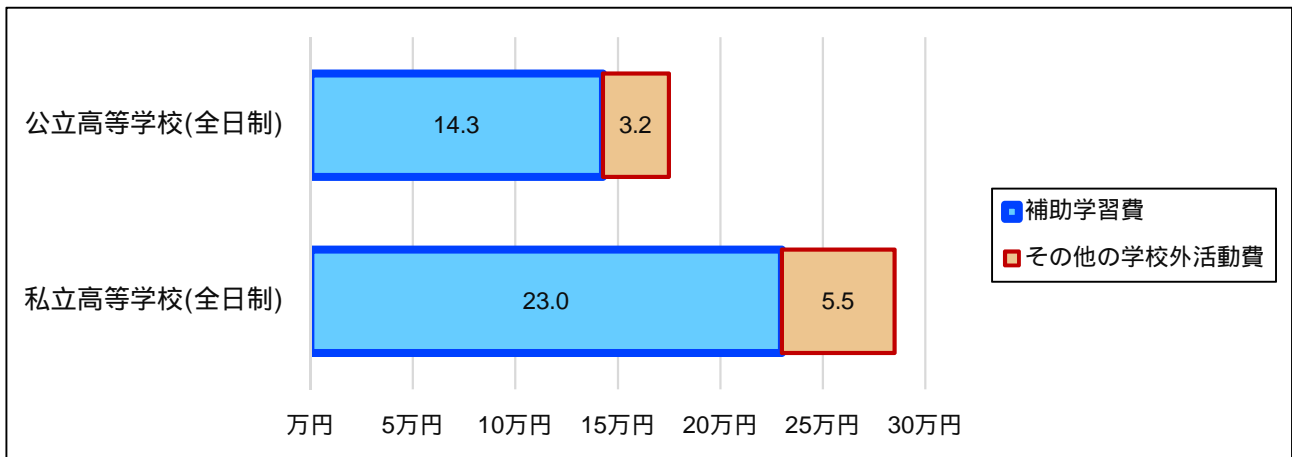
学校教育費を見ると、公立高等学校（全日制）では、各項目に対して大きな偏りなく支出されている。一方、私立高等学校では授業料及び学校納付金等（入学金，入学検定料，施設整備資金，学級費，PTA会費，寄附金等）が占める割合が多くなっている。

図 5-2 公立・私立高等学校（全日制）における学校教育費の内訳



学校外活動費を見ると、高等学校（全日制）では「補助学習費」が「その他の学校外活動費」を上回っている。

図 5-3 公立・私立高等学校（全日制）における学校外活動費に占める「補助学習費」「その他の学校外活動費」の割合



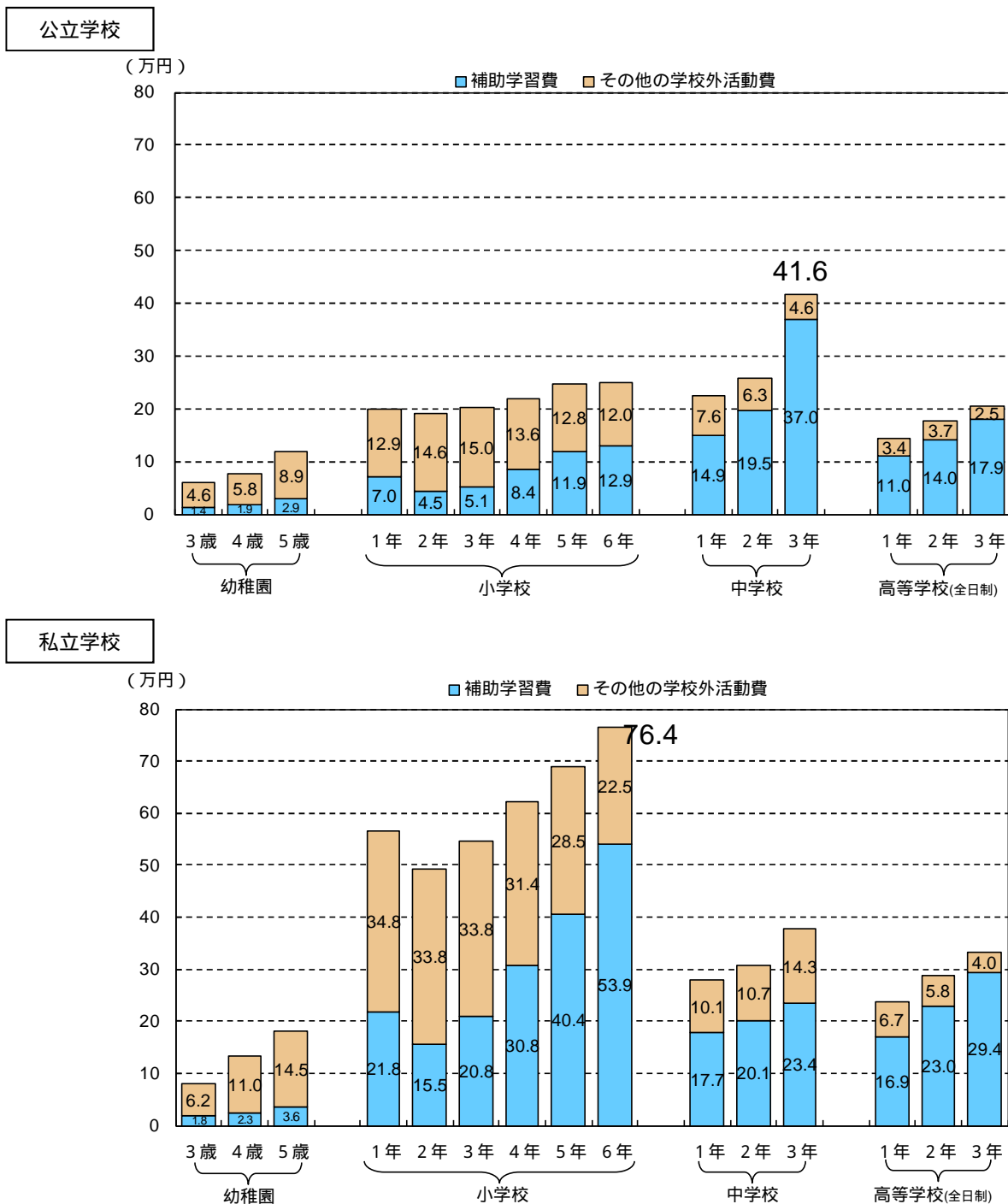
3 学校外活動費

(1) 学年別の学校外活動費支出状況(図6)

学校外活動費を学年別に見ると、公立では中学校第3学年の約41万6千円が、私立では小学校第6学年の約76万4千円が、最も多くなっている。

「補助学習費」と「その他の学校外活動費」の割合を見ると、公立では小学校第6学年以降において、私立では小学校第5学年以降において、「補助学習費」の割合が「その他の学校外活動費」の割合を上回っている。

図6-1 学年別にみた補助学習費とその他の学校外活動費

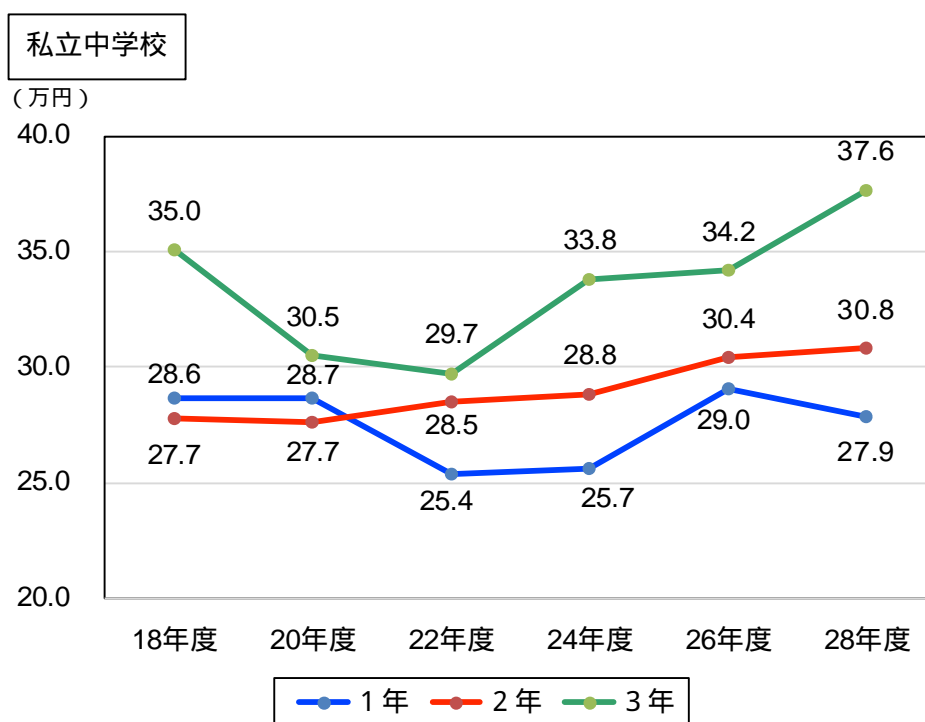
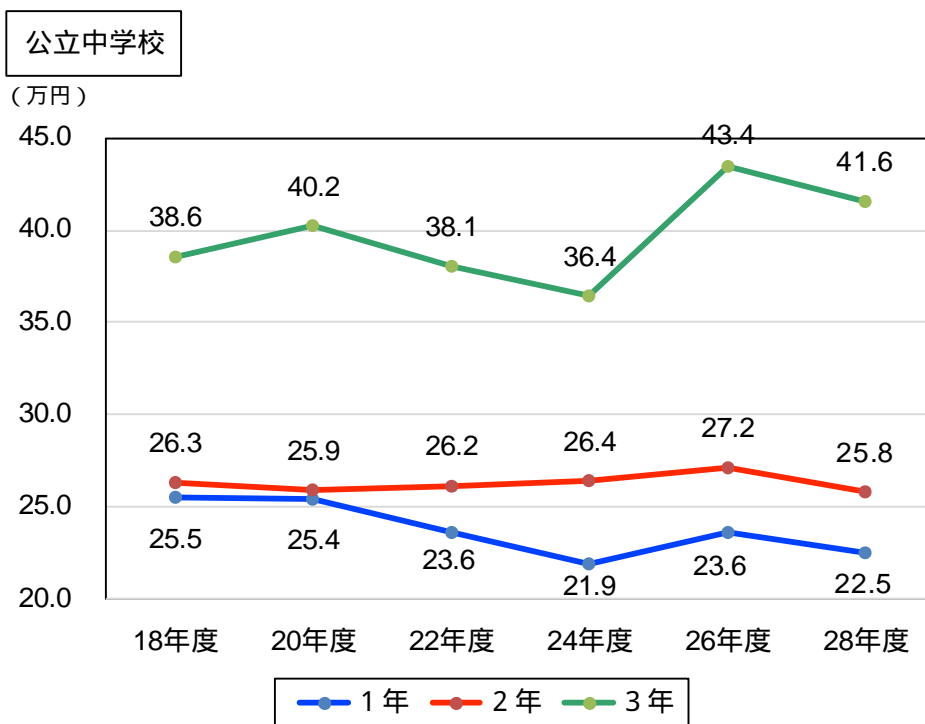


学年別の学校外活動費支出状況の推移を見ると、中学校では、公立・私立ともに第3学年での支出割合が増加してきている。

一方、高等学校（全日制）では、公立・私立ともに第1・2学年での支出額が増加してきており、第3学年における支出額との差が縮小している。

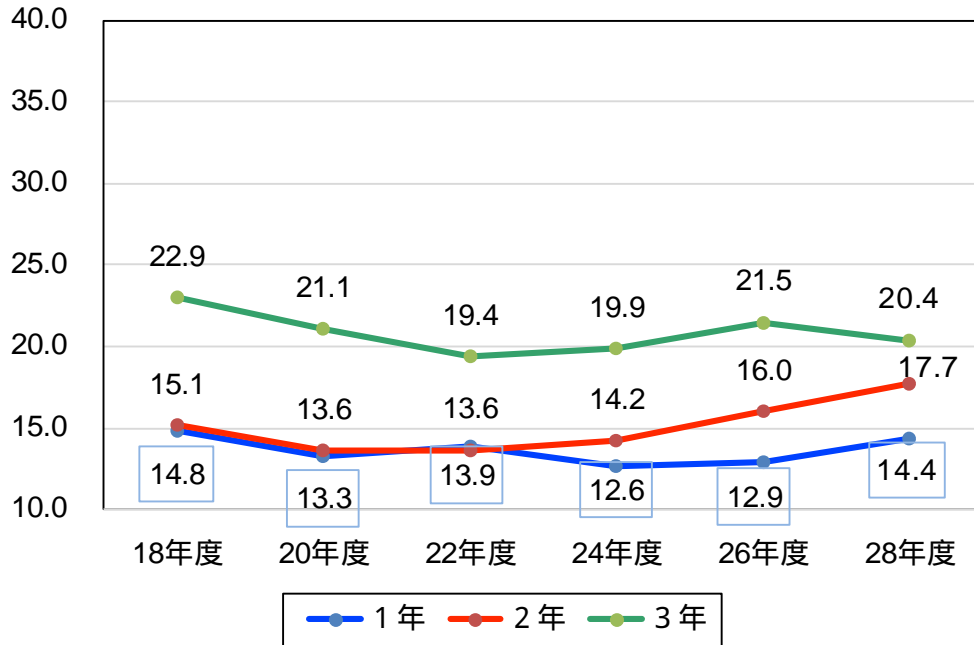
（幼稚園及び小学校では、傾向に大きな変化はない。）

図 6-2 学年別にみた学校外活動費の推移（近 10 年・本調査 6 回の推移）



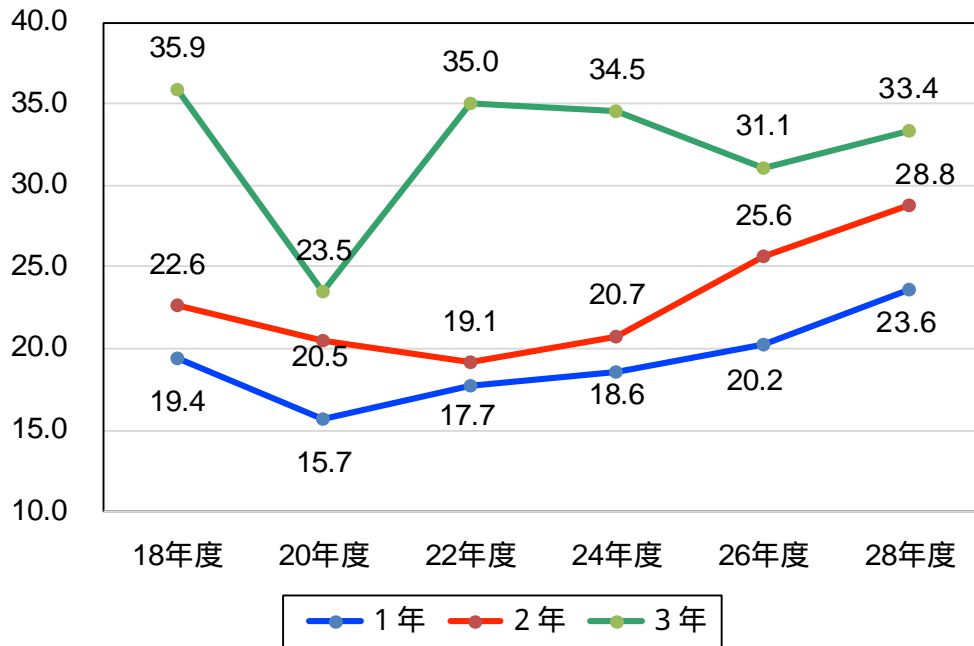
公立高等学校(全日制)

(万円)



私立高等学校(全日制)

(万円)

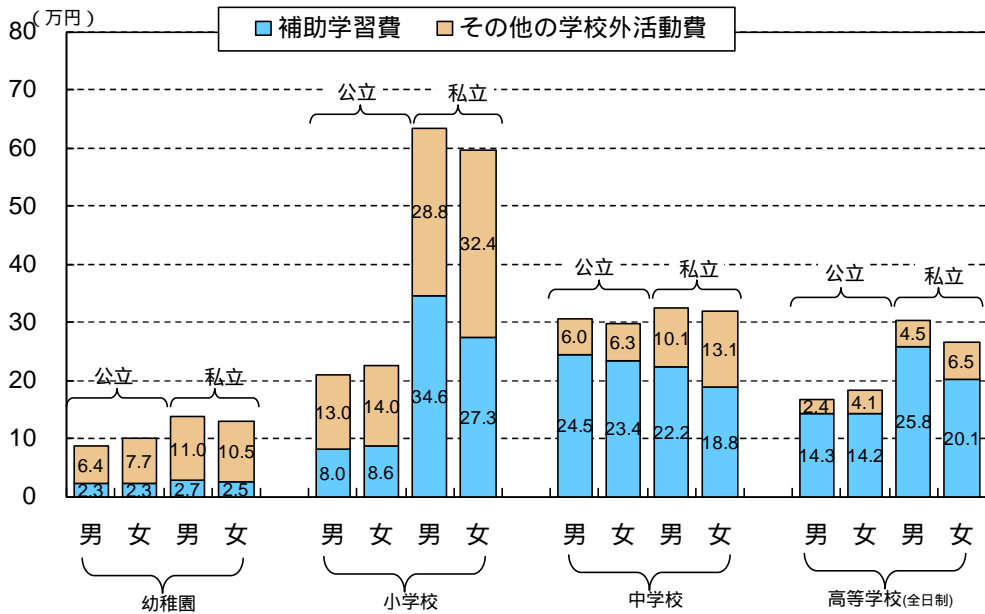


(2) 男女別の学校外活動費支出状況 (図7)

各学校種とも学校外活動費の合計は男女間でほぼ同様であるが、私立の小学校及び高等学校(全日制)では、女子よりも男子の支出額の方が多傾向にある。

小学校以上では、公立小学校を除く全ての学校種において、「補助学習費」は女子よりも男子の支出の方が多く、また、小学校以上の全ての学校種において、「その他の学校外活動費」は男子よりも女子の支出額の方が多傾向にある。

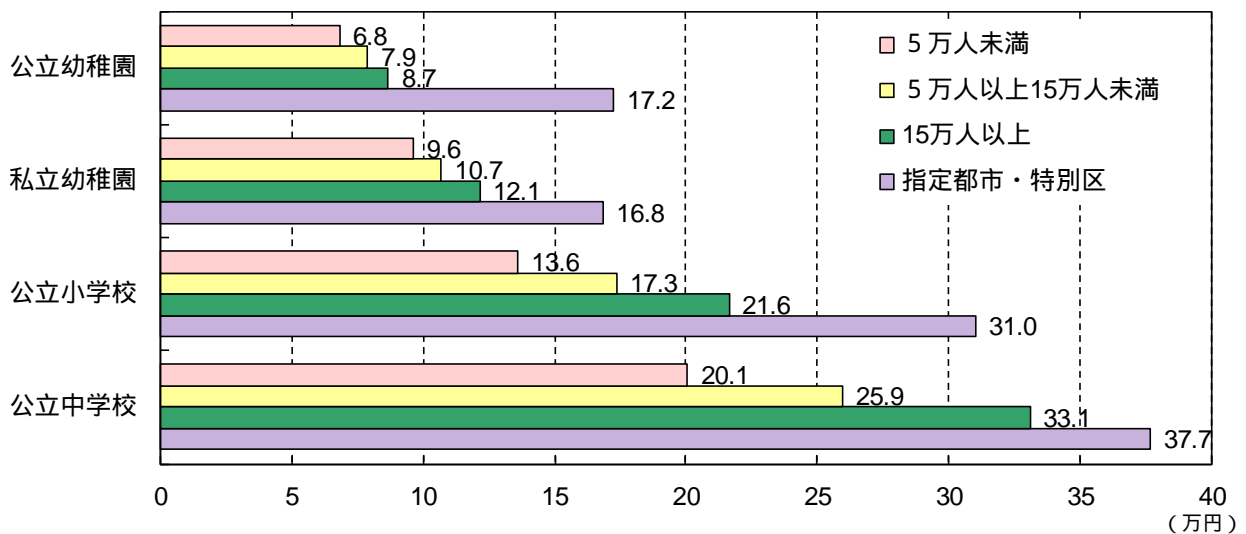
図7 男女別にみた補助学習費とその他の学校外活動費



(3) 人口規模別の学校外活動費支出状況 (図8)

学校が所在する市区町村の人口規模別に学校外活動費の支出状況を見ると、人口規模が大きくなるほど学校外活動費の支出額が多くなる傾向にある。

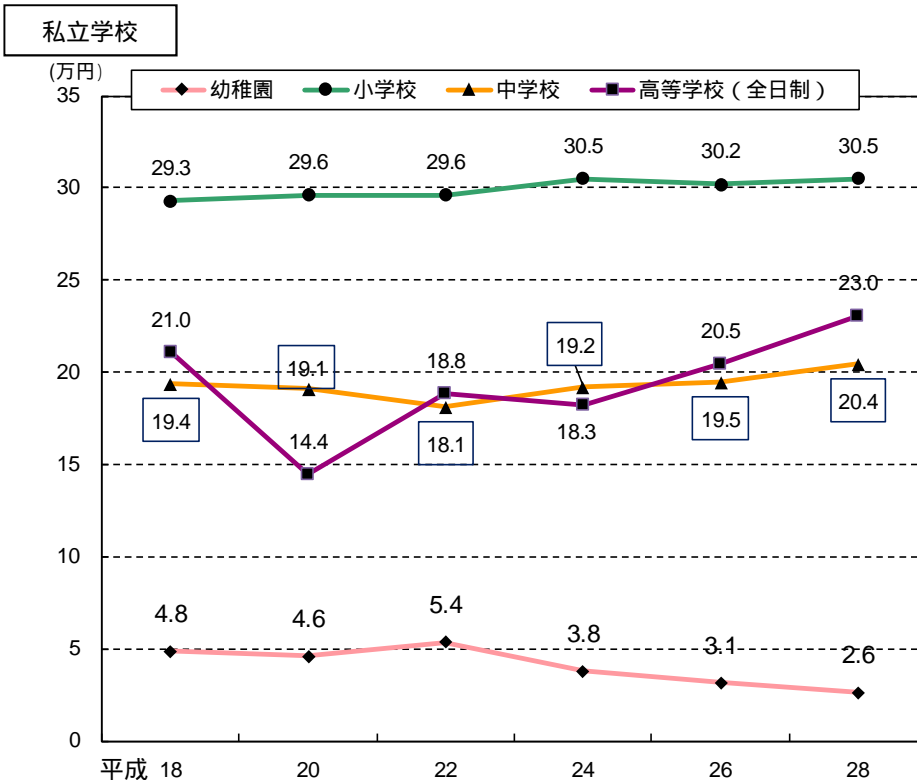
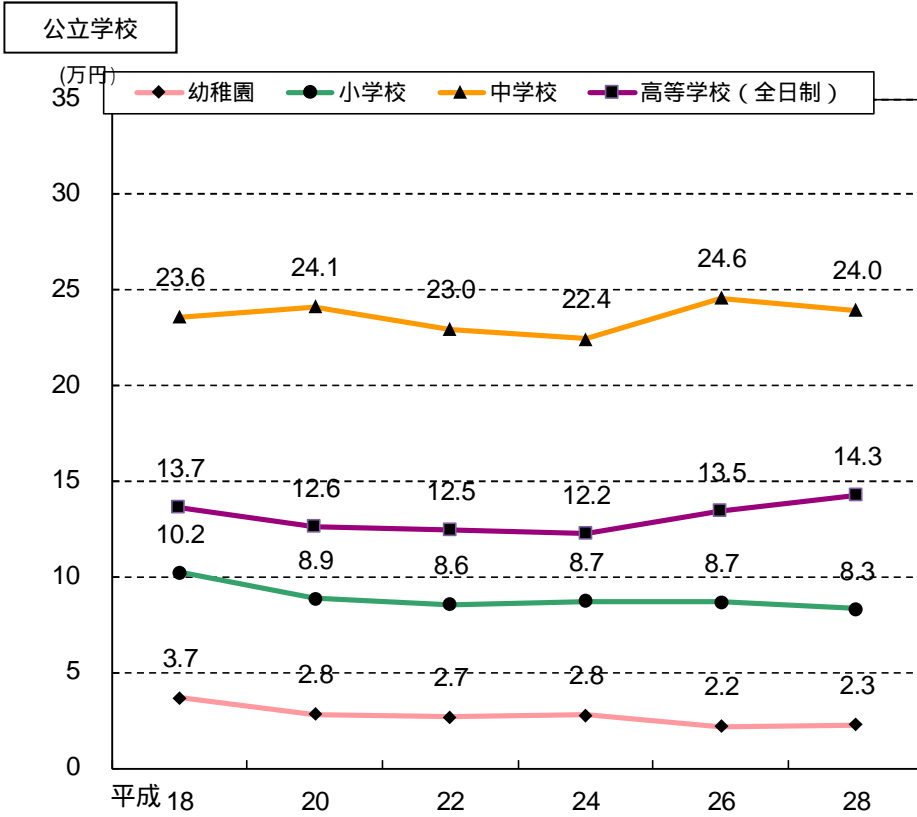
図8 学校が所在する市区町村の人口規模別にみた学校外活動費



(4) 補助学習費の支出状況の推移 (図9)

補助学習費の推移を見ると、高等学校(全日制)において公立・私立ともに増加している。これは主に、第1・2学年における補助学習費への支出増によるもの。

図9 学校種別にみた補助学習費の推移(近10年・本調査6回の推移)



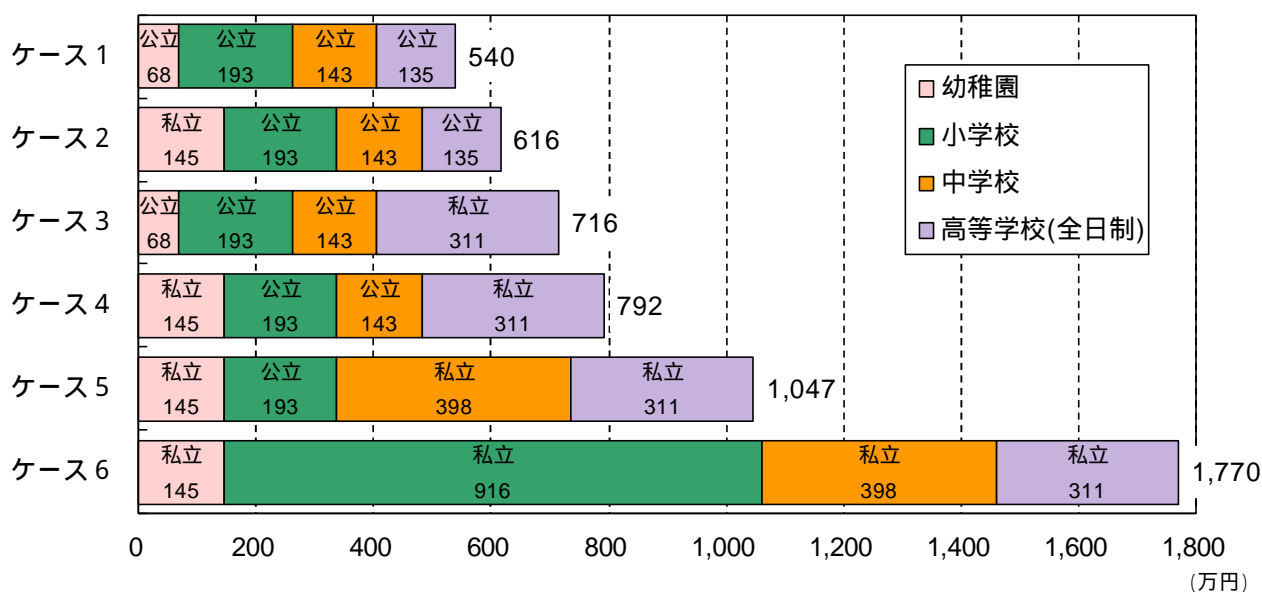
4 幼稚園から高等学校卒業までの15年間の学習費総額

(図 10)

幼稚園3歳から高等学校第3学年までの15年間について、各学年の学習費総額を単純合計すると、全て公立に通った場合では約540万円(前回調査結果は約523万円)、全て私立に通った場合では約1,770万円(同約1,770万円)である。

最も支出額が多いケース(全て私立に通った場合)は、最も支出額が少ないケース(全て公立に通った場合)の約3.28倍(同3.38倍)である。

図 10 幼稚園3歳から高等学校第3学年までの15年間の学習費総額



- ケース1 : 全て公立に通った場合
- ケース2 : 幼稚園のみ私立に通った場合
- ケース3 : 高等学校のみ私立に通った場合
- ケース4 : 幼稚園及び高等学校は私立に通った場合
- ケース5 : 小学校のみ公立に通った場合
- ケース6 : 全て私立に通った場合

(注)金額は、各学年の平成28年度の平均額の単純合計である。

(参考) 大学学部(昼間部)の1年間の学費(注)

国立: 647,700円

公立: 666,300円

私立: 1,361,600円

(注) 学費: 授業料, その他の学校納付金, 修学費, 課外活動費, 通学費の合計。

(資料) 独立行政法人日本学生支援機構「平成26年度学生生活調査」

5 世帯の年間収入別の学校外活動費の支出状況

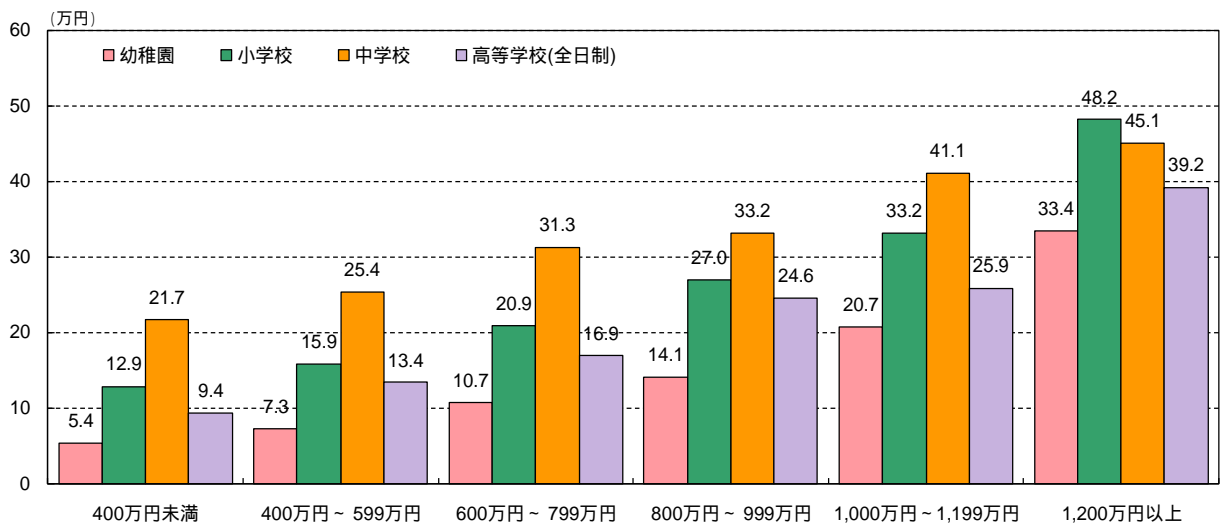
(図 11)

世帯の年間収入別に学校外活動費を見ると、多くの学校種において、世帯の年間収入が増加するに連れて学校外活動費が増加する傾向がみられる。

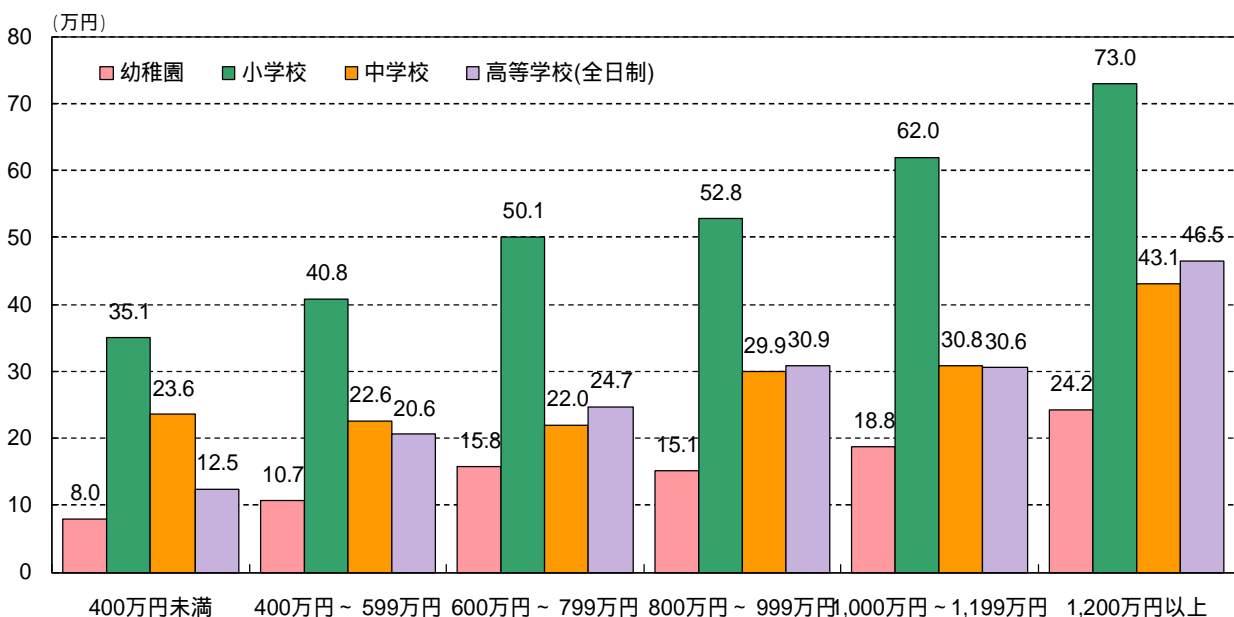
特に高等学校(全日制)において、公立・私立ともに、世帯の年間収入段階による学校外活動費支出の差が大きい。世帯の年間収入が「400万円未満」と「1,200万円以上」を比較した場合、公立高等学校(全日制)では約4.2倍(約30万円)、私立では約3.7倍(約34万円)の差がある。

図 11 世帯の年間収入段階別の学校外活動費

公立学校



私立学校



【調査の概要】

1 調査の目的

子供を公立又は私立の学校に通学させている保護者が、子供の学校教育及び学校外活動のために支出した経費並びに世帯の年間収入の実態をとらえ、教育に関する国の諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の実施時期

平成28年4月1日～平成29年3月31日

3 調査対象

学 校 種 類	調査実施学校数 (校)	調査実施者数 (人)	集計対象者数(人)	
公 立	幼稚園	150	3,200	2,990
	小学校	150	5,400	4,201
	中学校	150	2,700	2,236
	高等学校(全日制)	150	3,600	2,847
私 立	幼稚園	150	2,700	2,330
	小学校	175	6,300	5,009
	中学校	65	1,560	1,227
	高等学校(全日制)	150	3,600	2,866

(注)1 「調査対象者数」は、「調査実施学校数」において、各学年別に抽出された学級から、それぞれ8名(公立小学校、公立中学校及び私立幼稚園においては6名)ずつ無作為に抽出された幼児・児童・生徒数の合計である。

2 公立幼稚園の「調査実施学校数」は、3～5歳児が在園する幼稚園が100校、4～5歳児が在園する幼稚園が50校である。

4 調査事項

区 分	費 用 の 範 囲	
学校教育費	子供に学校教育を受けさせるために支出した経費 (授業料, 入学金, 学用品費, 通学用品費など)	
学校給食費	幼稚園, 小学校, 中学校において, 保護者が給食費として納付した経費	
学校外活動費	保護者が, 子供の学校外活動のために支出した経費 (補助学習費及びその他の学校外活動費の合計)	
	補助学習費	予習・復習・補習などの学校教育に係る学習をするために支出した経費 (各家庭での学習机や参考書等の購入費, 家庭教師, 通信添削等の通信教育, 学習塾へ通うために支出した経費等)
	その他の学校外活動費	知識や技能を身に付け, 豊かな感性を培い, 心とからだの健全な発達を目的としたけいこことや学習活動, スポーツ, 文化活動などに要した経費 (「体験活動・地域活動」, 「芸術文化活動」, 「スポーツ・レクリエーション活動」, 「教養・その他」の4つに区分)
世帯の年間収入	世帯全体の1年間の収入(平成28年1月～12月(税込み))	

子供の学習費調査 項目別定義

定義欄の は学校調査， は保護者調査により把握していることを示す。

項目名	定義(含まれる費用の範囲)
学 習 費 総 額	学校教育費、学校給食費及び学校外活動費の合計
学 校 教 育 費	学校教育のために各家庭が支出した全経費で、学校が一律に徴収する経費(学校調査)及び必要に応じて各家庭が支出する経費(保護者調査)の合計額
授業料	幼稚園保育料、私立中学校・公私立高等学校の授業料として徴収した経費
修学旅行・遠足・見学費	修学旅行・遠足・見学を行うために徴収した経費
学級・児童会・生徒会費	学級費・クラス会費として徴収した経費及び全校の児童・生徒を対象とする児童会・生徒会費として徴収した経費
P T A 会費	学校・学級・地域等を単位とするPTAの会費として徴収した経費
その他の学校納付金	当該学校に入学するための入学検定料・入学金、私立学校における施設設備資金及び上記以外の学校納付金で、保健衛生費、日本スポーツ振興センター共済金等の安全会掛金、後援会費、冷暖房費、学芸会費等として徴収した経費
寄附金	全く個人的な寄附金を除き、学校全体として集まった寄附金
教科書費・教科書以外の図書費	授業で使う教科書(高等学校のみ)及び各教科などの授業(幼稚園の場合、保育上使用)のために、先生の指示などにより購入した必須図書等の購入費
学用品・実験実習材料費	学校の各教科などの授業に必要な文房具類、体育用品、楽器、製図・技術用具、裁縫用具等の購入費及び調理用の材料購入費等
教科外活動費	クラブ活動(課外の部活動を含む)、学芸会・運動会・芸術鑑賞会、各教科以外の学級活動(ホームルーム活動)、児童会・生徒会、臨海・林間学校などのために、家庭が直接支出した経費(飲食、お土産等の個人的に要した経費を除く)
通学費	通学のための交通費、スクールバス代、自転車通学が認められている学校での通学用自転車購入費等
制服	学校が通学のために指定した制服一式(標準服を含む)で、いわゆる学生服以外にブレザー、ネクタイ、シャツ・ブラウス等を含むが、制服以外の衣類は除く
通学用品費	通学のために必要な物品の購入費で、ランドセル、かばん、雨傘などの購入費
その他	上記のいずれにも属さない経費で、学校の徽章・バッジ、上ばき、卒業記念写真・アルバムの代金等
学 校 給 食 費	幼稚園・小学校・中学校において、完全給食、補食給食、ミルク給食等給食の実施形態に関わらず、給食費として徴収した経費
学 校 外 活 動 費	補助学習費及びその他の学校外活動費の合計
補助学習費	予習・復習・補習などの学校教育に関係する学習をするために支出した経費 ただし、学校で使用するものと共用のものは「学校教育費」とする
家庭内学習費	家庭の中での学習に使用する物品・図書の購入費
物品費	学習机、いす、本棚、カセットテープレコーダー、パソコン(補助学習用)等の購入費
図書費	参考書、問題集、辞書、百科事典、学習用カセットテープ・パソコンソフト等の購入費
家庭教師費等	家庭教師への月謝(謝礼)、教材費また、通信添削などの通信教育を受けるために支出した経費
学習塾費	学習塾へ通うために支出した全ての経費で、入会金、授業料(月謝)、講習会費、教材費、通っている学習塾での模擬テスト代、学習塾への交通費
その他	予習・復習・補習のための図書館などへの交通費、公開模擬テスト代等
その他の学校外活動費	知識や技能を身に付け、豊かな感性を培い、心とからだの健全な発達を目的としたけいこごとや学習活動、スポーツ、文化活動などに要した経費(複数で共有するような物品等は一人当たりの経費)
体験活動・地域活動	ハイキングやキャンプなどの野外活動、ボランティア活動、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの活動に要した経費
芸術文化活動	ピアノ、舞踊、絵画などを習うために支出した経費、音楽鑑賞・映画鑑賞などの芸術鑑賞、楽器演奏、演劇活動などに要した経費
月謝等	入会金、月謝等
その他	入場料、交通費、物品費、図書費等であり、楽器、楽譜帳、舞踊のみに使う衣類等
スポーツ・レクリエーション活動	水泳・野球・サッカー・テニス・武道・体操などのスポーツ技術を習うために支出した経費及びスポーツイベント等への参加費、スポーツ観戦に要した経費
月謝等	入会金、月謝等
その他	入場料、交通費、物品費、図書費等であり、スポーツ用具の購入費や維持費等を含む
教養・その他	習字、そろばん、外国語会話などを習うために支出した経費及び小説などの一般図書・雑誌購入費、博物館・動物園・水族館・図書館などへの入場料・交通費など
月謝等	入会金、月謝等
図書費	単行本、文庫本、全集、絵本等であり、補助学習のために購入した場合を除く
その他	入場料、交通費、物品費等であり、補助学習のために購入した場合以外のパソコン、パソコン用ソフト等の購入費を含む